

女性労働者
活躍推進
事業所

女性労働者活躍推進事業所

医療法人 松風海 内藤病院

■業種／病院 ■常用労働者数／160名(男性30名、女性130名) ■所在地／久留米市西町1169-1

取り組み内容

- ◆職場において待遇の男女均等化を進め、一性(男性・女性とも)の管理職の割合が30%以上かつ各2人以上達成している。管理職:男性6人、女性5人。
- ◆女性労働者を育成するための研修制度や相談員の配置。
- ◆育児両立支援として夜勤帯も対応可能な院内託児所を開設。

男女問わず専門職として スキルアップできるシステムを構築

性別に関係なく人材を育成し、管理職登用については能力と業務態度、人間性などで評価しています。個人の労働状況に合わせて短時間勤務体制を導入、夜勤帯も対応可能な院内託児所(生後6ヶ月～小学3年生まで対応)を設置するなど、家庭や育児と両立しながら働くことができる支援を行っています。また、一定水準のスキルを保持するために『E-ラーニング』教材を取り入れ、昼休みや自宅で学習できる環境を整えています。また、管理職や専門職としてのスキルを身に付け、向上させるために指導力研修や技術研修、学会等に積極的に参加を促しています。



▲薬剤師責任者の興津雅子さん(中央)。家庭と両立して働く姿は後輩の手本に。



▲副師長の七村美奈子さん(左)と師長の串崎さん(右)。連携しながら治療やスタッフの指導にあたっています。



▲夜勤帯も対応可能な院内託児所「ウィーニングハウス 宙良(そら)」



院長
ないとう まさやす
内藤 雅康さん

「男女問わず、スタッフがスキルアップしながら専門職を続けることができるシステムを構築したいと考えています」と病院長の内藤雅康さんは話します。

副師長の七村美奈子さんは「家庭を持つ女性スタッフにおいて、教育とスキルアップの時間をどう作っていくかが課題でした。『E-ラーニング』は自分のできる時間に勉強ができ、とても助かります。また、院内に託児所があるため、子どもの体調が悪くなった時はすぐに駆け付けることができ安心して働くことができます」と話します。



▲師長の串崎由美さん(左)は女性スタッフに慕われる良き指導者。